

病院の 実力

*兵庫編192

心身苦痛 チームで対応

がんの緩和ケア

病院の実力「がんの緩和ケア」
医療機関別2022年実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	チームの新規患者 (人)	外来の新規患者 (人)	他施設からの 紹介 (人)	緩和ケア病棟の 病床数 (床)	緩和的放射線治療 (人)
兵庫県					
神戸大	534	4	0	—	—
兵庫医大	453	44	0	53	—
姫路赤十字	410	110	3	153	—
神戸市立医療セ中央市民	398	119	0	284	—
県立がんセ	361	33	0	283	—
神戸市立西神戸医療セ	330	379	195	—	—
県立尼崎総合医療セ	269	16	0	258	—
国・姫路医療セ	238	102	80	21	19
加古川中央市民	194	3	0	170	—
関西労災	166	12	7	52	—
北播磨総合医療セ	153	53	18	8	103
神鋼記念	144	50	0	107	—
県立はりま姫路総合医療セ※	92	69	18	20	45
姫路聖マリア	68	262	146	22	0
市立加西	60	—	—	—	0
神戸百年記念	47	—	—	—	0
大久保	—	335	300	18	0
協和マリナホスITAL	—	263	—	30	0
ふくやま	—	—	—	34	0

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター、「—」は無回答または不明。緩和ケア病棟の病床数(床)は24年2月現在。空欄は病棟がない施設。※病院統合により、22年5~12月の実績。

今回は「がんの緩和ケア」を取り上げる。一覽表には2022年の新規患者数などの実績を示した。

患者や家族の心身のつらさを和らげる緩和ケアについて、国のがん対策の基本計画は「がんを診断された時から提供する」としている。がん治療と並行して行い、病状に応じて比重を変えてゆく。がん診療に携わる全ての医師や医療従事者が行うものだ。

がん患者は様々な身体的苦痛に悩まされ、例えば痛みは患者の5割が抱えているとされる。不安や抑うつなどの精神的苦痛、仕事や治療費の心配、死への恐怖などにも直面する。

「緩和ケアチーム」は、緩和ケア医や精神科医、がん看護や緩和の専門資格を有する看護師、薬剤師や管

理栄養士などがメンバーとなる。

近年重要性を増しているのが、通院中の患者に専門的ケアを提供する「緩和ケア外来」だ。通院での治療が増え、つらさを和らげながら、自宅での生活や仕事と治療を両立することが増えているためだ。

「緩和ケア病棟」は、苦痛の緩和が必要な患者に対応する専門病棟だ。人生の最終段階にある患者を受け入れるだけでなく、在宅などでのケアへの移行を支援する。

腫瘍に放射線をあてる「緩和的放射線治療」は、骨転移などによる痛みやしびれを軽減する。

心身の痛みやつらさを抱えきれない時は、担当医や近くの医療従事者に遠慮なく伝えてほしい。

県立がんセンター 丸中淳・緩和ケア内科医長



「患者のできることを一緒に考え、不安に寄り添うことが大切」と話す丸中医師(明石市で)

患者の不安に寄り添う

がんの緩和ケアについて、県立がんセンター(明石市)の丸中淳・緩和ケア内科医長(50)に、治療方法や家族のサポートの重要性などを聞いた。

(聞き手・高田果歩)

緩和ケアで重要なことは、

旅行したいと相談されれば、そのための病状の把握と治療方法の検討が必要です。患者は最低限の日常生活だけでなく、趣味や仕事など楽しみや生きがいがあります。ライフステージや体力も異なるなか、できることを一緒に考え、不安に寄り添うことが大切です。

緩和ケアを終末期ケアと誤解している人も多い。

ひと昔前は終末期のような位置づけでした。今は診断時から、がん治療にあたる主治医も緩和ケアを行います。ただ、主治医に治療のつらさを伝えにくいという患者もいるので、病院の相談窓口や看護師らを通じて、専門の緩和ケア治療を受けたいと伝えていただければと思います。

患者だけでなく、家族の協力も大切。

患者は正直に苦痛を打ち明けられないこともあるので、家族が客観的に見て「寝ていることが増えた」などと伝えてもらうと、より具体的な治療法を一緒に考えることができます。離れて暮らす家族が患者に会った際、容体を心配して緩和ケア外来を勧めるケースもあります。専門的な治療を受けられれば、家族の安心にもつながります。

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター、「—」は無回答または不明。緩和ケア病棟の病床数(床)は24年2月現在。空欄は病棟がない施設。※病院統合により、22年5~12月の実績。

患者からはどのような相談があり、どう対応しているのか。

車の運転をする仕事の場合には眠くならないような投薬などが必要ですし、

全国の調査結果は15日の「安心設計」面に掲載しました。